

■EU：EURELECTRICが投資環境の整備をEUに求める

欧州電気事業者連盟（EURELECTRIC）は2015年1月28日にブリュッセルで主催した会議において、電気事業における投資環境について議論を行った。EURELECTRICは、エネルギー転換の過程において、大規模な設備投資が求められる中、卸価格の低迷等により事業者が十分な設備投資ができない環境にあることを指摘。EURELECTRICのウルセスエネルギー政策・発電委員長は、「欧州全体で2035年までに7.4億kWの追加容量が必要であるが、そのためには、EUが事業者による費用対効果の高い設備投資を促進する規制の枠組を構築する必要がある。」と述べ、早期の対応を求めた。また、会議では、欧州排出量取引（EU-ETS）を改革し、低炭素技術に対する投資を促進する底固い排出枠価格を形成すること、およびデマンドレスポンス、出力の調整が可能な電源、電力貯蔵、国際連系線の整備を通じ、電力の長期的な供給力を確保できる柔軟な統合市場を形成することの重要性等が指摘された。